

「土呂久に集まれ!」新聞



令和7年度7月号(第3号)

Instagramもフォローしてね!!



発行 宮崎国際大学教育学部「土呂久に集まれ!プロジェクト」
(<https://sites.google.com/sedu.miu.ac.jp/torokuniatsumare/>)

作成 橋本幸汰

みなさん、こんにちは!「土呂久に集まれ!」新聞です。季節外れの暑い日が続いていますが、元気に過ごしておいででしょうか?

今月の「土呂久に集まれ!」プロジェクトの活動を、紹介していきます。

—二次審査—

二次審査は、本プロジェクトが正式に認められるための最後にして最大の関門!先生方の前で、今年度の活動方針を説明して、アドバイスを頂くことのできる貴重な機会です。緊張の中、私たちはプロジェクトに向けた熱い思いをぶつけました!

無事その思いが先生方に届き、後日、プロジェクトとして認めていただけたとの連絡がありました。これまでの努力が実を結び、いよいよ本格的に活動を開始できることを、プロジェクトメンバー一同、大変嬉しく思っています。

これもひとえに、温かいご支援と貴重なご意見をくださった先生方、そして、関心を持って見守ってくださった皆様のご理解とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

このプロジェクトは、私たち学生が主体となり、高千穂町土呂久地区を、憩いの場、教育の場に変えていくことを目指しています。

承認されたとはいえ、ここがゴールではありません。むしろ、ここが新たなスタートラインです。これからも頑張っていきますので、応援のほど、よろしくお願い致します。



二次審査の発表に参加するプロジェクトメンバー岩切うらら(4年生)、
國谷公平(3年生)、橋本幸汰(2年生)、工藤康太(2年生)

山下恵子学長先生からのアドバイスを伺うプロジェクトメンバー一同

—土呂久訪問—

私たちは先日、今年度最初の土呂久訪問に行ってきました！

今回は、土呂久地区で高千穂牛を飼育されている佐藤元生さんの牛舎を訪ね、実際に牛たちの様子を見せていただきました。

中でもひとときわ元気だったのが、写真のこの子。ぐいぐい近づいてきて、思わず「食べられちゃうかも!？」とびっくりするほどの迫力でした(笑)

それでもその表情や仕草には、どこかかわいらしさもあって、つい笑顔になってしまいます。

命を育てる現場の力強さと温かさを感じた、貴重なひとときでした。



佐藤元生さんの牛



牛を撮影する工藤康太(2年生)



佐藤元生さんと前年度プロジェクトリーダー中村朱里(卒業生)
※昨年撮影

また、今回の土呂久訪問には、前年度のプロジェクトリーダーである中村朱里先輩も同行してくださいました。その際、今年度のプロジェクトメンバーに向けて、お祝いと激励のメッセージをいただきましたので、ご紹介します。

“久しぶりに後輩たちと土呂久に行ってきました”

久しぶりに土呂久の自然に触れ、地域の方々とお話することができ、とても元気をいただきました。

「土呂久に集まれプロジェクト」を引き継いで活動を続けてくれている後輩たちに本当に感謝しています。

これからも新しい活動を取り入れながら、土呂久の良さを多くの方々に知っていただきたいです。

中村朱里”

このように、先輩からの温かい言葉は、私たちにとって大きな励みとなりました。今年度も土呂久の魅力をより多くの人々に届けられるよう、活動を充実させていきたいと思いをします。



前年度プロジェクトリーダー中村朱里(卒業生)と
土呂久地区在住森実(もりざね)弘行さん
今年度プロジェクトリーダー工藤康太(2年生)
※昨年撮影